



# ひゆーまんらいっ

第196号 平成29(2017)年

## 拉致問題の早期解決を願う国民のつどい in 米子

北朝鮮当局による拉致は、家族、人生を奪い去り、人間の尊厳、自由を著しく侵害する重大な人権侵害です。「拉致を絶対に許さない」という一人ひとりの声は何よりも強い力になるとともに、被害者家族の大きな支えとなります。すべての拉致被害者の一刻も早い帰国が実現することを願い、拉致問題への関心を高め、世論をもって拉致問題の早期解決の促進を図ることによって拉致問題を風化させないようにするため、下記の催しを開催します。

みなさんのご来場をお待ちしています。

**入場無料  
申込不要**

**手話通訳あり  
要約筆記あり**

- 【と き】 10月14日(土) 14:00~16:00 (13:30開場)
- 【ところ】 米子コンベンションセンター 国際会議室 (米子市末広町294)
- 【内容】 ▼ 拉致被害者ご家族の訴え

松本 孟 氏

(1977年10月 鳥取県で拉致された  
松本京子さんの兄)

- ▼ 講演 「拉致被害者救出のために  
～今私たちは何をすべきか～」

荒木 和博 氏

(特定失踪者問題調査会 代表)

- ▼ その他内容

- ・主催者によるあいさつ
- ・特定失踪者ご家族の訴え
- ・政府制作DVD上映  
「メッセージ～家族たちの思い～」
- ・拉致被害者友人からのメッセージ

私たちは決してあきらめない!  
拉致問題の早期解決を願う  
国民のつどい in 米子

10月14日(土)  
14:00~16:00(開場13:30)

米子コンベンションセンター  
国際会議室 (米子市末広町294)

松本 孟 氏  
「拉致被害者ご家族の訴え」

荒木 和博 氏  
「拉致被害者救出のために  
～今私たちは何をすべきか～」

その他内容  
・主催者によるあいさつ  
・特定失踪者ご家族の訴え  
・政府制作DVD上映  
「メッセージ～家族たちの思い～」  
・拉致被害者友人からのメッセージ

鳥取県庁 人権・平和対策課  
〒680-8570 米子市末広町294番地 TEL:0857-26-7590 FAX:0857-26-8138  
E-mail: jshken@pref.tottori.jp HP: http://www.pref.tottori.jp/inchv/

## 拉致問題啓発パネル展

昭和52年(1977年)10月21日に松本京子さんが行方不明になってから40年が経ちます。一刻も早い救出が望まれます。

米子市では、松本京子さんが拉致被害者として政府認定されているほか、少なくとも2名の方に拉致の可能性が指摘されています。

松本京子さんをはじめ、拉致されたすべての方々の一瞬も早い帰国が実現することを願い、パネル展を開催します。

多くの方のご来場をお待ちしています。

- 【と き】 10月20日(金)～10月26日(木)  
※月曜日を除く(図書館休館のため)  
火曜日～金曜日: 午前9時～午後7時  
土曜日・日曜日: 午前10時～午後6時

【ところ】 米子市立図書館2階 展示ギャラリー



# 米子市隣保館合同 人権講座



【演題】

## 「どんな境遇の子どもも見捨てない！」

手話通訳あり

入場無料  
申込不要

【日時】平成29年10月5日(木)

19:00~20:30(開場18:30)



【講師】<sup>たにくち</sup>谷口 <sup>ひとし</sup>仁史 さん

1976年生まれ、佐賀県武雄市出身

◆特定非営利活動法人

「NPO スチューデント・サポート・フェイス」代表理事

◆前さが若者サポートステーション総括コーディネーター

◆佐賀県子ども・若者総合相談センター長

【場所】ふれあいの里<1階大会議室> 駐車場あり

(米子市錦町1丁目139番地3 ☎23-5491)

【問い合わせ先】

米子市市民人権部人権政策課 ☎23-5251

# 美保中学校区人権問題講演会



## 子どもを“まもる”から“尊重する”へ

～エンパワメントと権利の視点から～

講 師：栗本 敦子さん  
Facilitator's LABO (えふらぼ)  
日 時：平成29年10月19日(木)  
午後3時～午後4時50分  
(午後2時30分開場)  
会 場：和田小学校体育館

講演内容：「よい子」ときいて、どんな子どもをイメージしますか。ハキハキ意見を言う子は、しっかりしてる？ 自己主張が強くてわがまま？ 大人の言うことをきく子は、すなお？ 主体性がない？ 協調性をもってほしいけれど、個性も発揮してほしい。おとなは、子どもにいろんな期待をしますが、ときにそれが抑圧になっているかもしれません。エンパワメントの視点から、子どもの権利を尊重する関わりについて考えます。

美保中学校区の人権問題講演会  
みなさんへ

子どもを“まもる”から  
“尊重する”へ  
～エンパワメントと権利の視点から～

講師：栗本 敦子さん  
Facilitator's LABO (えふらぼ)

日時：平成29年10月19日(木)  
午後3時～午後4時50分  
(午後2時30分開場)

会場：和田小学校体育館

～講師紹介～  
市民団体の専任職員を経て、現在はフリーランス。ワークショップ(参加型学習)のファシリテーターとして活動。テーマは、ジェンダー・人権、コミュニケーション(アサーション)など。一人ひとりが尊重され、かえりかす(エンパワーされる)ことが出来る、対等な関係性をとることで、持続可能なよりよい未来に向けた社会への行動につなげる事をめざしています。

講演内容：  
「よい子」ときいて、どんな子どもをイメージしますか。ハキハキ意見を言う子は、しっかりしてる？ 自己主張が強くてわがまま？ 大人の言うことをきく子は、すなお？ 主体性がない？ 協調性をもってほしいけれど、個性も発揮してほしい。おとなは、子どもにいろんな期待をしますが、ときにそれが抑圧になっているかもしれません。エンパワメントの視点から、子どもの権利を尊重する関わりについて考えます。

◆入場料は無料です。多くの方のご参加をお待ちしています。

【主 催】米子市和地区人権教育推進協議会/地区人権・同和教育推進協議会/和地区人権・同和教育推進協議会/美保中学校区PTA人権・同和教育推進協議会/美保中学校区小中一貫教育推進協議会  
【問合せ先】米子市人権政策課 TEL: 0859-23-5415 FAX: 0859-37-3184

米子市人権情報センター

〒683-8686 米子市東町 161-2

TEL 0859-37-3183 Fax 0859-37-3184

E-mail humanr@ruby.ocn.ne.jp

URL: http://www.city.yonago.lg.jp/jinken/

